



「地域力日本一」を目指して

日田市長

原田啓介

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月の熊本地震では、日田市でも最大震度5強を記録し、道路や農地等の崩壊など大変大きな被害となりました。また、風評による観光客の減少によって、観光にも大きな影響を受けたところです。震災後に開催しました出前懇談会では、皆様から様々なご意見をいただき、災害対応のあり方について改めて考える機会となりました。

震災から9か月余りが経過しましたが、道路についてはほぼ復旧し、観光面でも、国の「九州ふっこう割」や市独自で行った「元気倍！日田!!」キャンペーンなどによって、震災前の状況に近いところまで回復してきています。

このような中、12月1日、「日田祇園の曳山行事」を含めた全国33件の祭礼行事が、ユ

ネスコ無形文化遺産に登録されました。既に日本遺産に認定されている「威宜園」をはじめ、日田市には素晴らしい歴史や文化など、多くの地域資源が残っていることに、日田の歴史の奥深さを再認識することができました。今回のユネスコ無形文化遺産登録を契機として、これらの資源を生かし、地域の活性化がより一層進むよう取り組んでまいりたいと考えています。

さて、昨年発表された国勢調査の結果では、大正9年の調査開始以来、初めて日本の人口が減少したことが発表されました。人口減少は地方の衰退にもつながることから、今、日本全国で、人口減少に歯止めをかけ、地域を元気にする地方創生の取組が行われています。

日田市においても、昨年、「日田市まち・ひと・しごと創生の人口ビジョンと総合戦略」を策定し、「日田市における安定した雇

用を創出する」「日田市への新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「人が共に支え合い、安全・安心で快適に暮らせる地域を創る」の4つの基本目標のもと、取組を始めたところで

す。今年、この取組を更に進め、経済情勢や人口減少などの社会変化にも対応できる、持続可能な「地域力日本一」を目指した日田市の創生に取り組んでまいりますので、今後とも、皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が皆様にとりまして幸多き年でありますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



夢を語ろう次の世代へ

日田市議会議員

嶋崎健二

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会に対し多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、人口減少に歯止めをかけ、地域経済の活性化を図るために策定した「日田市総合戦略」の実現に向けて取組を始めた年でありました。

そうした中、4月の熊本地震によって、熊本・大分では甚大な被害が発生しました。日田市においても、熊本阿蘇方面に通じる国道212号の土砂崩れ等によって、市民生活に不便を被るとともに観光面に大きな打撃を受けました。

一方で、社会教育の拠点となる日田市複合文化施設「アオーゼ」の開館や「日田祇園の曳山行事」がユネスコ無形文化遺産に登録決定されるなど、大変喜ばしい出来事もあった

一年でした。

当市議会では、熊本地震の災害に対する早期復旧・復興に向け、行政と一緒に取組むとともに「議会報告・意見交換会」を開催し、「日田市総合戦略」の推進と市民ニーズや様々な課題に対し、皆様のご理解やご協力がいただけるよう努めてまいりました。

また、次の世代を担う若者の声を反映させるため、市議会内に設けた政策研究会を中心に、高校生との意見交換会を開催するなど新たな取組を始めたところです。

さて、今、日本は世界に例を見ない早さで人口減少・超高齢化社会に向かっており、国も地方も大きく変革する中で、本市においても、人口減少対策、子育て支援の推進、防災対策、中山間地活性化対策など、多くの課題があります。

市議会といたしましては、これらの山積する課題に立ち向かいながら、今後もまちづく

りの主役は市民の皆様であることを第一に考え、「日田市議会基本条例」の下、議員一同住みよいまちづくりのため、全力を尽くしてまいる所存でありますので、皆様のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が日田市にとって輝かしい年でありますことを願いますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。